

奈良市手をつなぐ親の会

「奈良市手をつなぐ親の会」とは

- 昭和38年(1963年)設立の奈良市における知的障がい者児の当事者団体
2023年で設立60周年を迎える
- 設立のきっかけは、母親の希
- 「障がいを持つ我が子たちの幸せを願い、生まれて良かった奈良、住んで良かった奈良になるように、福祉からの発信」が親の願い

「奈良市手をつなぐ親の会」のミッション

- 福祉のゴールは街づくり

何らかの支援が必要な方が住みよい街＝すべての人たちが住みよい街

- 「奈良市手をつなぐ親の会」の活動プロセス

- 1 親ができることから始めましょう
- 2 親しかできないことを始めましょう
- 3 親がしなくてはならないことをはじめ
- 4 無ければ作ればいい
- 5 福祉関係者を巻き込み
- 6 市民を巻き込み
- 7 最後は行政が答えを出してくれる

環境美化活動の経緯

市のリサイクル事業への参加

- 平成2年奈良市から環境・観光関連の事業委託が開始

- ①資源回収事業、②再生事業、③空き缶選別事業、
- ④灰かられんが製造事業（廃止）、⑤美化促進清掃業務、
- ⑥ペットボトル処理作業業務、⑦公衆便所管理業務、⑧公園清掃業務、
- ⑨重度心身障害児施設バルツァ・ゴードルのリネンメンテ事業、
- ⑩なら燈花会使用ローソクリサイクル事業(廃止)

障がい者が「働く」ことを通じて「社会参加」と「社会貢献」できていることが自立につながるとともに、きれいな奈良県に寄与

⇒事業そのものが「障害者雇用」から「環境整備の推進」へ意識変化

“子どものサポート”から出発した「クリーン作戦」

- 平成9年10月より奈良市から大宮通りや近鉄・JR奈良駅周辺等の清掃事業を受託
- 受託内容は一般清掃が基本で除草等は含まれていない
- 障がい者児がきれいに清掃をしても、道に雑草等があれば「障がい者の清掃は不十分」との評価になったり、すぐにごみが捨てられがちになる
- そこで子どもたちをサポートするため、親の会会員(保護者)の有志で除草も含めた大宮通り沿いの清掃活動を行うことにした(「クリーン作戦」)

【活動理念】

子供ができることは自分で行う(必要以上の支援は行わない)
できないことはできるまで支援する。

活動範囲

- 大宮通り沿い(奈良市役所から新大宮駅付近)
- 範囲が広いいため、清掃する場所をローテーションして回っている



活動の様子

- 毎月1回、基本的には毎月1日に実施
- 午前10時から約2時間、草引きやゴミ拾いを中心に清掃活動を実施
- 25年間で延べ約2500名の会員が参加



活動の様子



花壇の除草の様子



草引きの様子

「クリーン作戦」の活動を通じて

- 少しでも子どもが普段できないところをサポートできればと始めた「クリーン作戦」
- 25年間続けると「街をきれいに」の気持ちが芽生えた
- 障害と共に生きるわが子たちが安心して暮らせる街、親が亡くなった後も支援付き自立をしていける街を目指して、ゆっくりとできることを実践しながら、発信していく
- 「きれいな街」の表面的美意識から、「美しい街」の内面的美意識につながってほしい

